

瑞宝双光章受章

令和5年2月16日に亡くなられた吉田千利さん(北方)が、瑞宝双光章を受章され、岡部町長よりご家族へ伝達が行われました。

吉田さんは、昭和44年4月に下呂町立西小学校の教諭として赴任され、大野町立中小学校や大野小学校など、郡内の小学校に勤務されました。その後、西濃教育事務所課長補佐や教頭職を経て、春日中学校、大野町立北小学校など郡内小中学校の校長を歴任し、平成19年3月に掛斐川町立北方小学校で定年退職されました。その後も掛斐川町教育委員会学校教育指導員として町内の学校教育の充実に貢献されました。

これらの生前の功績が認められ、今回の受章となりました。多大な功績に対し敬意を表しますと共に、心からご冥福をお祈りします。



▲ご家族へ伝達が行われました

小学生県外派遣事業
認定書交付式

6月28日(水)、掛斐川町役場で小学生県外派遣事業の認定書交付式が行われ、今年度派遣される児童へ、町長から認定書が手渡されました。

今年度は、8月18日(金)から22日(火)まで、町内在住の小学6年生12名が北海道芽室町、8名が高知県宿毛市を訪れ現地の人々との交流を通じて学びを深めました。

式の中で、児童一人一人が、研修への期待を込めて、研修で学びたいことや、派遣先で伝えたい掛斐川町の良さ等を意欲的に語りました。



▲認定書を受け取る児童

消防機動演習を実施しました

7月2日(日)、北方神社において掛斐川地域の消防団が合同で機動演習を行いました。

今回の訓練は、北方神社において枯草火災が発生したとの想定で、14台の車両と約100名の消防団員が参加しました。

機動演習は、新型コロナウイルスの感染防止対策として、令和元年度末から分団ごとに実施しており、6分団合同での訓練は約4年ぶりでしたが、参加者は、中継、送水など手順を確認しながら実施し、訓練終了後には、掛斐郡消防組合消防本部の講師の方から講評を受けました。

消防団では、今後も各地域で実災害を想定した実践的な訓練を実施していきます。



▲機動演習の様子

迅速な119番通報と
勇気ある行動に対し
感謝状が贈呈されました

谷汲名札地内で発生した建物火災において、迅速な119番通報と避難誘導を行った、谷汲中学校の生徒4名に対し、7月19日(水)、掛斐郡消防組合消防本部にて、消防長より感謝状が贈呈されました。

6月20日(火)、15時10分頃、鈴木大渡さん、宗宮歩さん、長谷川大朋さん、若山心海さんの4名は、現場付近で煙が出ている建物を発見し119番通報しました。また、建物付近にいた高齢男性の手を引き安全な場所へ避難させました。

4名の適切な119番通報と火災現場での勇気ある避難誘導活動により、火災による被害を最小限に抑えることができました。

▼感謝状を受けとった皆さん



日比野克彦氏(東京藝術大学学長)と会談を行いました

7月12日(水)、揖斐川町春日地内にある砂防堰堤に描かれた壁画について、国枝県会議員と岡部町長が、壁画の作者である日比野克彦東京藝術大学学長とWEBで会談し、今後の活用等について意見交換を行いました。

意見交換で日比野学長からは「地方創生につながるものとして活用し、次世代にどのようなようにつなげていくかが重要」などと意見がありました。

今回の意見交換を踏まえ、岐阜県を通じて揖斐川町と東京藝大が連携し、壁画の活用について検討していきます。



WEB会談の様子(写真上:日比野学長)

水道施設を美しく「清掃奉仕作業」

7月14日(金)、揖斐川町内の水道工事店12社が、町内の水道施設の清掃奉仕作業を行いました。

毎年行われているこの奉仕作業、この日は12人が参加して早朝からお昼まで、水道施設やその周辺の草刈を行いました。

梅雨空の下、皆さんの協力によって施設周辺は美しくなりました。清掃奉仕作業に参加された皆さんありがとうございました。



▲配水池周辺の清掃の様子

体験学習が行われました
～中高連携行事～

7月25日(火)から2日間、揖斐高等学校で体験学習が行われ、町内の中学2年生、150名が参加しました。

中学生は、普通科、生活デザイン科の教師が準備したコースの中から選択して、授業を体験しました。また、授業後には、部活動の体験も行われました。

高校の知的好奇心をくすぐる授業や先輩の堂々とした態度などから、どの生徒も自分の進路について、考えを深めていました。



▲普通科食物コース
マジパン細工体験



▲普通科ビジネス系列
ビジネスマナー体験

サマースクール開講
～中高連携行事～

7月25日(火)から4日間、揖斐高等学校でサマースクールが行われ、町内の中学3年生、のべ100名が参加しました。

サマースクールは、揖斐高等学校と町内の中学校の教師による、夏限定の特別授業です。過去の実力テストを基にして作った問題に挑戦し、解き方や今後の学習の進め方の指導を受けました。

参加した中学生の生徒は、「自分の苦手なところが理解できたので、まずはそこを中心に学習して、受験に備えたい」と閉講式で成果を語りました。



▲揖斐高校の先生から指導を受ける生徒たち

北海道芽室町の児童が来町

7月26日(水)、揖斐川町と友好都市提携を締結している北海道芽室町の小学生派遣団12名が町長を表敬訪問しました。芽室町児童は町の職員への質問を通し、揖斐川町の理解を深めました。派遣団は、大和小学校を訪れ、互いの町と小学校について発表したり、レクリエーションを行ったりして交流しました。

また、芽室町の児童と芽室町へ派遣される揖斐川町の代表児童が、会話を楽しんだり、体験活動を通して親交を深めたりしました。



▲大和小の児童に芽室町について発表する派遣団

地域学習支援事業
「地域学び塾」開設

夏休み等の長期休暇期間中に学習支援を希望する中学生を対象に、学習の場を提供する「地域学び塾」が開設されました。

この事業は、長期休暇期間中の子どもたちの居場所づくりや自主学習の支援を目的としています。

今年度は7月27日～8月24日の間に、町内公民館8か所で計15日間開設され、参加した中学生は、自らが選択した科目を学び、学力の向上を図りました。

7月28日(金)に学習を見学した岡部町長は、「夏休み中の貴重な時間を有意義に使ってほしい」と話しました。



▲地域学び塾の様子

子ども会リーダー研修会を開催しました

7月16日(日)に揖斐川町教育委員会・揖斐川町子ども会育成指導者連絡協議会主催で「揖斐川町子ども会リーダー研修会」をふじはし星の家と水と森の学習館で開催しました。

この研修は、町内小・中学校から応募のあった児童・生徒が野外活動を通じて、参加者相互の親睦とリーダー研修会としての自覚を深めていただくために開催しました。

参加した16名の皆さんは、「飯ごう炊さん」でカレーライスを作り、その後「丸太切り体験」「木の実ストラップ作り」のプログラムを体験し、豊かな自然の中で楽しく学びました。また、自由時間に大自然の広場でのびのびと走り回る姿が見られました。児童・生徒は「野外実習の難しさを感じた」「木を使っていろいろなものを作ることができた」「違う学校の生徒の良さを感じた」と感想がありました。

学校・地域のリーダーとして、今後活躍されることを期待しています。



あたたかい善意
揖斐川町役場へ

6月30日(金)、大垣西濃信用金庫(だいしん緑化文化振興財団)様から、町内7小学校へ草花苗入りプランターを寄贈いただきました。ありがとうございました。



徳山民俗資料収蔵庫
休館日変更のお知らせ

9月より休館日に変更になります。

火曜日 ▼ 木曜日